

特集 英語が苦手な生徒への支援

「スローラーナー」を巻き込む楽しい活動

関口 智

(東京都江戸川区立清新第一中学校)

1. はじめに

「スローラーナー」は自信がないために意欲に欠け、活動にも消極的であることが多い。活動に参加することで、自分にもやれたという達成感を持たせ、自信を持たせる必要がある。どのような活動が参加しやすいのだろうか。

生徒にとって、とても大切な存在である友達の力を活用しない手はない。一人では面倒に感じてしまうことや、難しいことも、友達と一緒にだと乗り越えやすいし、また、楽しく活動できる。

2. Bingo with Hints

現在、授業の warm up として市販の教材を用いて Bingo をやっている。友達とペアを組ませ、Bingo の数が多い方を勝ちとしている。単語を書いていることを宿題としているが、忘れると友達と勝負ができなくなるため、ファーストラナーからスローラーナーまで、やってこない生徒はほとんどいない。やり方は教師が単語をただ読み上げて、生徒はそれを聞いて○をしていくのではない。教師はヒントを与え、生徒はその答えを当ててビンゴをするのである。方法は以下の4つを主に用いている。

- ① 定義から連想させる。(animal, black and white → panda)
- ② 対義語から連想させる。(not soft → hard)
- ③ コロケーションから連想させる。(I ... up at six this morning. → got)
- ④ 意味の流れから連想させる。(Coffee is ... → bitter)

Bingo を開始し、ヒントを与えると次々と生徒から答えが返ってくる。Bingo には色々な単語が

あり、スローラーナーにも答えられる単語がいくつもあるため、彼らも答えられるものに関してはいきいきと答えてくる。自分が答えられないものでも他の人が答えてくれるので、問題なく、楽しく活動に参加できる。また、同じ単語が何回か繰り返し出てくるので、その度に同じヒントを与えていると、スローラーナーでも答えられる単語が増えてくる。

この活動の効果としては、以下のことが考えられる。

- ① 日本語を介さないで英語が認識できるようになる。
- ② 英単語がネットワーク化し、語彙サイズが広がる。
- ③ リスニングの力がつく。
- ④ 既習の語彙を聞きながら連想していくので、単語の知識が活性化される。

教師にとっても、単語の言い換えがうまくなるため、英語で授業を行うための基盤作りになる。

3. 友達紹介

この活動は名前が示すとおり、友達を紹介するものである。この活動にすると友達を紹介するという責任が生じて、やる気になり、紹介するのは自分ではないので、恥ずかしさもあまり感じることなく、人前で話すことができる。やり方を以下に記す。

(1) 第1ステップ

- ① ワークシート(図1)を配り、質問の内容を確認する。
- ② 教師について質問を音読させる。言いにくいところは何回も繰り返したり、個人に当てたりして、スローラーナーを含め、全員が言えるようにする。
- ③ 自分に関する質問の答えを記入させる。質問を受けたり、代表的なものを例示したりして全員が記入できるようにする。聞いてわかる答えを書かせ

友達紹介
Introduction of Your Friend

2-() No. () Name ()

1 自分で質問に答えなさい。

1	What's your name?	My name is
2	What do I call you?	Just call me
3	Where do you live?	I live in
4	Do you have a pet?	Yes, I do. No, I don't.
5	What pet do you have?	I have a(an)
6	What do you do when you are free?	I
7	What's your favorite food?	My favorite food is
8	Who is your favorite singer(movie star)?	My favorite singer(movie star) is
9	What sports do you like?	I like

2 ペアを作って質問し、答えのメモを取りなさい。

1	What's your name?	My name is
2	What do I call you?	Just call me
3	Where do you live?	I live in
4	Do you have a pet?	Yes, I do. No, I don't.
5	What pet do you have?	I have a(an)
6	What do you do when you are free?	I
7	What's your favorite food?	My favorite food is
8	Who is your favorite singer(movie star)?	My favorite singer(movie star) is
9	What sports do you like?	I like

3 クラスの前に出て、友達紹介をしてごらん。

図1 友達紹介のワークシート

- ることが大切である。
- ④ 答えの練習を行わせる。机間支援し、スローラーナーでも言えるようにする。
 - ⑤ 教師が質問し、生徒が答える練習をする。Read and Look up までもっていく。

(2) 第2ステップ

- ① お互いに紹介しやすい間柄でペアを組ませる。
- ② ペアで質問をしあい、答えをワークシートに記入させる。顔を上げて会話するよう促す。

(3) 第3ステップ

ノートを開かせ、メモをもとに自分が得た情報を英文で書かせる。その際、三人称になることに留意させる。質問を受け、全員が書けるようにする。

- 例) 1. His name is Takayuki.
2. Just call him Taku.
3. He lives in Seishin-cho.
4. He has a pet.
5. He has a dog.
6. He plays video games when he is free.
7. His favorite food is sushi.
8. His favorite singer is Kuwata Keisuke.
9. He likes volleyball.

(4) 第4ステップ

皆の前で友達紹介をするための練習を宿題にする。

(5) 第5ステップ(発表)

- ① 発表者へのヒントとして、友達紹介の項目を簡単に板書する。
- ② 発表のメモをとるための「友達紹介の表」(図2)を配布する。
- ③ 発表の際の注意点を説明する。全員がメモを取れるように、大きな声で話させる。聞こえない場合には“Pardon?”と言ってもよい。
- ④ 発表を希望するものに挙手をさせる。毎回4ペア程度発表させる。何回かにしたほうがスローラーナーはやり方を覚えられるし、自分と同じくらいの学力の生徒の発表を見ることはファーストラナーにとってもスローラーナーにとっても大きな刺激となる。全員が発表者になるが、自分たちでいつやろうかと決めることは活動への意欲につながる。
- ⑤ ペアで教室の前で、発表させる。
- ⑥ 残りの生徒は聞きながら、表にメモを取る。未習語などが出た場合は教師が黒板に書く。この活動は次にどういうことを言うかわかっているので、スローラーナーでもメモを取りやすい。そのため、ほぼ全員が欄を埋めることができた。

友達紹介
Introduction of Your Friend

2-() No. () Name ()

	Name	呼び名	Where	pet	pet's name	free time	favorite food	singer	sports
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									

図2 友達紹介の表

全員がこの活動に積極的に取り組み、成功させたことで、スローラーナーからファーストラナーまで全員が達成感を持つことができた。特にスローラーナーには自分にもできるのだという自信が生まれた。自信が意欲の元となっていく。教師は誰もがついてこられるよう、温かい目でまた緻密に指導していく必要がある。